

## 株式情報 (2024年9月30日現在)

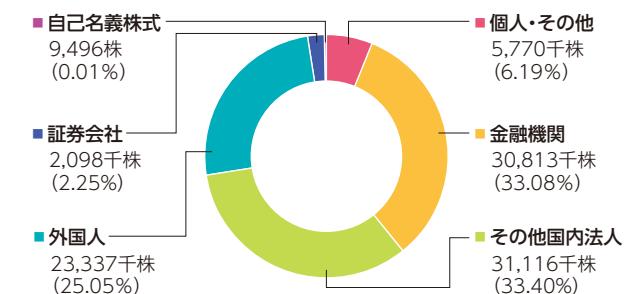
株式の状況	
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 9,496株)	93,145,400 株
株主数	11,459 名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,168	9.84
日本航空株式会社	4,398	4.72
ANAホールディングス株式会社	4,398	4.72
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	3.74
株式会社みずほ銀行	3,300	3.54
三菱地所株式会社	3,111	3.34
株式会社三菱UFJ銀行	3,068	3.29
大成建設株式会社	2,731	2.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,566	2.75
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 日本通運口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,337	2.51

(注) 持株比率は自己株式(9,496株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式数分布



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証用紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷方式」を採用しています。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/">https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/</a>
株主名簿管理人	〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324(フリーダイヤル)

### 各種手続きのお取扱窓口について

住所変更や買取・買増請求等株主さまの各種お手続きのお取扱窓口は以下の通りです。

- 証券会社等に口座をお持ちの場合  
お取引の証券会社等になります。
- 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

電話での  
お問い合わせ **みずほ信託銀行株式会社 証券代行部**  
TEL: 0120-288-324(フリーダイヤル)

- 各種手続きお取扱店 **みずほ信託銀行**  
本店および全国各支店  
※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。



日本空港ビルディング株式会社  
〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(第1旅客ターミナルビル)  
TEL: 03-5757-8000(代表)  
<https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>



第81期 2024年4月1日▶2024年9月30日

# 中間 株主通信

株主・投資家の皆さまへ



日本空港ビルディング株式会社

証券コード: 9706

# トップメッセージ Top Message



代表取締役会長  
兼CEO 鷹城 勲

代表取締役社長  
執行役員兼COO 横田 信秋

## 羽田空港の国内線旅客数は台風や地震の影響などもあり当初予想を下回るも、インバウンドが好調な国際線旅客数は当初予想を上回りました。

上期の事業環境として羽田空港の国内線旅客数は、国内景気の緩やかな回復が続いたこともあり前期を上回ったものの、台風の影響などもあり当初予想は5%ほど下回りました。国際線旅客数は、歴史的な円安水準など訪日外国人数が過去最高水準を記録して、前期を2割強上回るとともに、当初予想も5%ほど上回りました。

## 旅客数の増加により前期を上回る収益を達成、通期の営業利益、経常利益は2年連続で過去最高益を更新する見込みです。

上期の連結業績につきましては、主に国際線旅客数の増加が業績をけん引し、売上高はすべてのセグメントで前期を上回りました。しかしながら、夏以降の円高に伴い、免税売上は大きく減速し上期の業績は修正予想を下回りました。これにより、売上高は1,317億円、営業利益は210億円、経常利益は203億円、親会社株主に帰属する中間純利益は119億円となりました。

下期の事業環境としては、国内景気は、引き続き緩やかな回復が続き物価上昇も緩やかに継続すると予想してい

## 旅行需要の回復による旅客ニーズを的確に捉え、必要な施策を着実に実行することで、さらなる収益基盤の強化を図ります。

ます。また、ビジネス需要は伸び悩むものの、旅行需要は堅調で、アウトバウンド需要も徐々に回復するとみえています。一方、インバウンド需要は好調に推移するものの、世界情勢の不安定化や中国経済の減速が懸念材料となります。

羽田空港の国内線旅客数は、上期同様に底堅く安定的に推移し前期を上回る水準と想定しました。国際線は、引き続き好調に増加し前期を約2割上回る水準とみえています。

売上高は、国際線旅客数の増加に伴う増収により、すべてのセグメントで増加する見込みです。費用面では、ターミナル運用の拡大などによる増加はあるものの、増収効果が上回り増益になると予想します。その結果、通期の業績は、売上高は2,673億円、営業利益は346億円、経常利益は319億円、親会社株主に帰属する当期純利益は193億円となり、営業利益と経常利益は2年連続で過去最高を更新し、営業利益は、中期経営計画目標を1年前倒して達成することを見込んでいます。

## 中期経営計画で掲げた2025年に目指す姿に向かって、それぞれの施策を着実に遂行していきます。

### 施設管理運営業

当期の主な取り組みにつきましては、施設管理運営業では、高品質と高効率のオペレーションの確立と維持管理コストの適正化を図るために、館内の人流を把握して需要予測精度の検証・改善の実施や警備ロボットの導入を検討しております。また、収益向上の観点で、第1ターミナルの区画整備を順次実施して、商業エリア全体の再編整備を進めて

魅力あるテナントを誘致するほか、航空会社の事務室需要の増加に対応するため、事務室エリアの貸付面積の増加を図っています。

### 物品販売業・飲食業

物品販売業・飲食業では、増大・多様化する旅行需要への対応として、国際線では総合免税店での混雑緩和のための店内レイアウト変更などの対応のほか、ブランドとタイアップしたオリジナル商品を展開しています。また国内線では、商品構成の見直しや人気商品の催事、イベントを積極展開するとともに、直営物販店舗の改修工事を進めています。そのほか、店舗運営や物流業務のオペレーションのさらなる効率化を目指して取り組んでいます。

### 新規事業・ノウハウ事業

新規事業・ノウハウ事業では、収益基盤の拡大を図るためEC事業の強化において公式通販サイトをリニューアルし、羽田空港限定商品の販売のほか、日本各地の銘品をお買い求めいただける新サービスをスタートしました。加えて、リアル店舗との連携強化として、中国人旅客向けの「羽田空港免税予約ステーション」の開設や「HANEDA TAX FREE ロッカー」サービスを開始するなど、快適な「てぶら観光」を可能としたインバウンド旅客の利便性向上に取り組んでいます。

そのほか、研究開発拠点「terminal.0 HANEDA」において各種ロボットの導入に向けた検証・確認や、保安検査場でのストレス軽減につながる実験を行っており、空港

ターミナルでのトライアルを進めています。

今後の環境としては、外国為替市場が大きく変動するなか、訪日外国人旅客数は過去最高水準を維持していますが、一方で航空業界においては、人手不足や燃料不足などの課題があり、免税販売に関しては消費税免税制度のリファンド型への変更が予定されています。このようななか、当社はさまざまな事業環境の変化に対応して必要な施策を着実に実行して、2030年に目指す姿である「すべてのステークホルダーの皆さまから信頼される空港ターミナル会社」へ向けて取り組んでまいります。

## 中間配当金を増配し1株当たり35円とし、年間配当金は1株当たり70円を予定しています。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、羽田空港の一層の機能強化が求められるなか、今後の大規模投資を考慮して内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、前回予想から4円増額して1株当たり35円といたします。また、年間配当金につきましても1株当たり70円を予定しております。今後も、業績に応じて積極的に利益還元を行い、中期経営計画の目標指標としての配当性向30%以上を念頭におきながら株主の皆さまへの利益還元に努めてまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 中間決算と通期業績予想

決算ハイライト (2025年3月期 中間連結業績)

売上高	1,317億円	経常利益	203億円
営業利益	210億円	親会社株主に帰属する中間純利益	119億円

通期業績予想 (2025年3月期 2024年11月8日発表)

売上高	2,673億円	経常利益	319億円
営業利益	346億円	親会社株主に帰属する当期純利益	193億円

# 中期経営計画の進捗状況『To Be a World Best Airport 2025 ~人にも環境にもやさしい先進的空港2030に向けて~』

当社は、中期経営計画「To Be a World Best Airport 2025～人にも環境にもやさしい先進的空港2030に向けて～」における2025年に目指す姿に向かって、サステナビリティを戦略推進の中核とし、空港事業の成長、再成長土台の確立、収益基盤の拡大、経営基盤の強化に取り組み、さまざまな施策を着実に実行し、業績に結び付けてまいります。

## 2025年に目指す姿

施設管理運営業	高品質と利益向上の両立を果たすべく、ターミナル運営のオペレーションを見直し、維持管理コストの削減や賃料等の増収を図りながら、2030年の訪日外客数増加に向け空港インフラとしての機能強化を推進する。
物品販売業 飲食業	商品構成やサービス、オペレーション、原価率等の見直しを行いつつ、デジタルマーケティングの活用により消費動向の変容した顧客ニーズを発掘し、物品販売業売上高1,430億円(旧基準2,190億円)、飲食業売上高170億円(旧基準210億円)を目指す。
新規事業 ノウハウ事業	2030年には収益基盤の一つとして利益の一翼を担うことを目指し、羽田の価値・ネットワークや空港運営ノウハウの活用に加え、現時点で保有していない経営資源の獲得を通じて、2025年には売上高100億円規模を目指す。

経営基盤	<b>DX戦略</b>	<b>組織・人材・ガバナンス</b>	<b>財務戦略</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル、AIを中心とした技術活用</li> <li>● 情報、データをデジタル連携</li> <li>● スマートエアポートへの進化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社外人財登用、社外交流を強化</li> <li>● 人材の専門性、多様性</li> <li>● 『自ら考え挑戦する』企業風土</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財務体質の早期健全化</li> <li>● 高度な事業評価、管理体制確立</li> <li>● 新たな事業機会への適切な投資</li> </ul>

## 【今期の主な取り組み】

### 施設管理運営業

#### 高品質と高効率のオペレーションの確立・維持管理コストの適正化

- 人流分析・需要予測等の実証実験
- 警備ロボットの導入等による維持管理コストの適正化
- ランプバス配車システム「RBAS(アルバス)」導入
- 第2ターミナルでのスイング運用等の国際線増便への対応
- 設置後年数の経過した設備・機器の更新工事、安全対策工事
- 将来を見据えた施設整備の推進  
第2ターミナル北側サテライト-本館接続工事  
第1ターミナル北側サテライト新設工事

#### 商業エリアの活性化・事務室貸付区画整備

- 第1ターミナルで区画整備を順次実施
- 商業エリア全体の再構築、再編整備
- 事務室エリアの貸付区画の整備、貸付面積の増加(航空会社等の事務室需要の増加に対応)
- 適正な賃料水準の検証



### 物品販売業・飲食業

#### 増大・多様化する旅客需要への対応

- レジ混雑の緩和への対応(POSレジ増設、レイアウト変更等)
- お土産需要を促進する国産品の取り扱い拡大
- ブランドとタイアップしたオリジナル商品の展開等
- 第3ターミナル免税店舗の再配置
- 成田空港に「ブシュロン」を空港免税店として初出店
- 第1ターミナル直営店舗改修(特選和菓子館、プラザ等)
- 羽田空港公式アプリの多言語対応
- ヴィーガン対応レストラン(日本食・ピザ)の開店

#### 業務効率の改善

- RFID対応レジの導入
- ロボット倉庫の導入
- 適正在庫の維持



### 新規事業・ノウハウ事業

#### 収益基盤の拡大

- 公式通販サイト「HANEDA Shopping」をリニューアル
- 予約品受取カウンター設置に向けた準備
- 中国人向けスーパーアプリ「WeChat」内に「羽田空港免税予約ステーション」を開設
- 消費税免税手続きを完全電子(無人)化した「HANEDA TAX FREE ロッカー」サービス開始
- 放射冷却素材「Radi-Cool」販売拡大

#### terminal.0 HANEDAの取り組み

- 異業種連携で空港の課題解決に取り組む研究開発拠点
- 各種ロボット等の実証実験
- 保安検査場のストレス軽減





特集

# 循環型社会の実現に向けた取り組み ～限りある資源の有効活用～



## 当社グループにおける資源循環の考え方

当社グループは、ターミナル運営に係る事業活動のサプライチェーンを含めた環境負荷低減を促進するため、3R (Reduce, Reuse, Recycle) の考え方に基づき、資源循環および廃棄物の抑制に取り組んでいます。当社事業の直接的な活動による廃棄物の抑制・循環に加えて、資材や物品の調達における、環境配慮素材・商材の導入など、自然環境や生物多様性にも配慮した事業運営を目指します。

### 具体的な取り組み ① 食品残渣の有効利用

#### 食品残渣(機内食)の飼料化

羽田空港と成田空港において機内食製造を行っている当社グループのコスモ企業株式会社で発生する主な食品残渣は、機内食工場発生する野菜くずや両空港に着陸した航空機内で回収される食べ残しなどによるものです。これらのうち、製造時に発生する食品残渣については、廃棄するのではなく、豚や家畜の飼料としてリサイクルしています。その結果、2024年3月から8月までの6カ月間で、両空港で合わせた食品残渣のリサイクル量は28,630kgに達し、環境負荷の軽減と資源循環の促進に寄与しています。

#### 食品残渣(飲食店)の中水再利用

微生物を使用した全自動消滅型「生ごみ処理機」を設置しております。常温で高い処理能力を発揮する微生物を使用し、一定時間をおいてかき混ぜや散水を繰り返し、約24時間で下水(または浄化施設)に排出可能なアンモニア水、炭酸ガスに分解するため、残留物がほとんど発生せず、排水処理施設で中水に処理されます。食品廃棄物の焼却によるCO<sub>2</sub>削減に加えて、処理水についてもトイレ洗浄水として再利用しています。



### 具体的な取り組み ② 水資源の有効利用

#### 排水・雨水の中水再利用

水資源の有効利用を目的として、ターミナルで発生する厨房排水・雑排水および雨水を水処理し、中水利用を行っています。製造した中水はトイレ洗浄水として再利用しております。



### 具体的な取り組み ③ ペットボトルのリサイクル

当社グループは、清涼飲料水の製造・販売ならびに関連する事業者などから構成される一般社団法人全国清涼飲料連合会と協働で、ペットボトルの水平リサイクル(ボトルtoボトル)の推進活動を実施しました。

羽田空港ターミナルでは、年間約200t(2023年度実績)のペットボトルが排出されておりますが、正しく分別が行われないことにより、一部は焼却処分されております。そのため、空港内にペットボトル専用の回収ボックスを設置し、分別へのご協力を呼びかけることで、資源循環の強化に努めています。あわせて「羽田deリサイクル」イベントを通じ、ペットボトルの資源循環を推進しています。さらに、この取り組みを業界団体に共有するなど、空港業界全体への展開を進めております。

また、ペットボトルの水平リサイクルの推進活動に加え、2024年10月から、第1・第2ターミナルの合計5カ所でペットボトルキャップ回収ボックスの設置を開始し、キャップを再生原料とした製品の導入に向けた検証と資源の循環に関する検討を進めております。

この活動は、「空港」を主要テーマとした研究開発拠点「terminal.0 HANEDA」の取り組みとして、その参画企業である株式会社スーパーメイトとの検証のもと実施されています。この実証実験を通じて、回収と資源循環の仕組みをさらに向上させ、持続可能な資源利用の推進に努めます。



羽田でのイベントの様子

### 具体的な取り組み ④ エシカル商品の取り扱い拡充

当社グループは、世界各国・日本各地から多くのお客さまが訪れる空港ターミナルで物品販売業を展開する企業として、直営物販店舗でのエシカル商品の取り扱いを拡充しています。多様化するお客さまのニーズに応えていくとともに、取引先や事業パートナーなど、サプライチェーン全体で連携し、本業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していけるよう努めます。

#### 羽田空港におけるエシカル商品の事例

株式会社JALUXと株式会社Beer the Firstと協働し、羽田空港で販売されるサンドウィッチの製造過程で出たパンの耳をアップサイクルしたオリジナル発泡酒「Bready to Fly」を協同で開発し、羽田空港の売店で販売しています。



# 羽田空港公式通販サイト「HANEDA Shopping」を リニューアルオープン



<https://haneda-shopping.jp/shop/>



当社は、2024年5月15日に羽田空港公式通販サイト「HANEDA Shopping」をリニューアルオープンしました。

デザインを一新し、視認性と操作性を向上させた当サイトでは、羽田空港でしか手に入らない「羽田空港限定商品」に加え、羽田空港が厳選した日本各地の銘品をお取り寄せできる新サービス「TORIYOSE - トリヨセ」もスタートしました。

是非新しくなった「HANEDA Shopping」でお買い物をお楽しみください。

お得な情報

ポイント

## 01 魅力あふれる羽田空港限定商品

羽田空港でしか手に入らない羽田空港限定商品をお菓子から雑貨までさらに充実させました。

ポイント

## 02 新サービス「TORIYOSE - トリヨセ」

羽田空港が厳選する日本各地の銘品を取り寄せられる新サービス「TORIYOSE - トリヨセ」を開始しました。羽田空港内で販売している商品に加え、日本各地のグルメや雑貨・工芸品をお買い求めいただけます。



ポイント

## 03 空港受け取りサービス — HANEDA PICK UP —

ご注文いただいた商品を羽田空港内の店舗で受け取れるサービスです。事前注文で売り切れの心配もなく、専用カウンターでのお渡しのため、スムーズにお受け取りいただけます。

ポイント

## 04 JALカード・ANAカード ご利用特典(マイル2倍)

HANEDA ShoppingでJAL・ANAカードをご利用いただくと、ショッピングマイルが2倍貯まります。

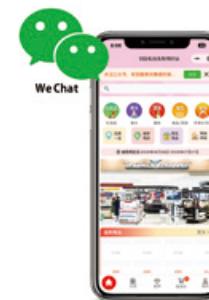
※HANEDA Shopping はJALカード特約店・ANAカードマイルプラス加盟店です。

# 中国人向けスーパーアプリ「WeChat」内に 「羽田机场免税预约站 (羽田空港免税予約ステーション)」を開設

当社は、2024年7月1日に羽田空港から出国される中国人旅客向けとして、免税品(DUTY FREE)をオンラインで予約して出発時に受け取れるサービス「羽田机场免税预约站(羽田空港免税予約ステーション)」を、WeChat<sup>\*1</sup>(微信)ミニプログラム<sup>\*2</sup>上に開発し、提供を開始しました。

※1: 中国で最もユーザー数が多い(13.6億人)ソーシャルメッセージングアプリの1つです。

※2: WeChatミニプログラム(微信小程序)とは、WeChat内で動く小さなアプリを指します。アプリのようにダウンロードする必要がなく、WeChatのプラットフォーム内で、そのまま簡易版のアプリプログラムが利用できることから、ミニプログラムと呼ばれています。



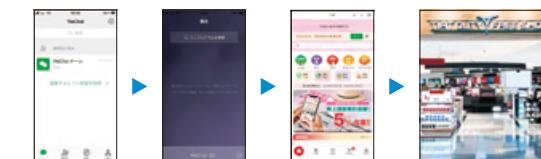
免税品予約サービス 利用方法

[ 読み取りコードからのアクセス ]



WeChatをインストールし、アプリを立ち上げて画面右上の「+」ボタン→「スキャン」より、読み取りコードをスキャンして羽田机场免税预约站(羽田空港免税予約ステーション)にアクセスし、商品を予約。出国時に羽田空港内免税店で受け取り。

[ WeChatアプリ内からのアクセス ]



WeChatを起動  
「羽田机场」で検索  
羽田机场免税预约站(羽田空港免税予約ステーション)で  
ご注文の24時間前までに注文  
羽田空港内免税店にて受け取り

本サービスは、羽田空港から出国されるお客さまが、出国の24時間前までであればいつでも免税品を予約することができ、予約品は羽田空港出国手続き後の出発ロビー内免税店で受け取れるサービスです。出発前に免税品を予約できるため、店頭で在庫切れの心配がないだけでなく、免税店を巡って商品を探したり、レジに並ぶ必要もなく、空港での時間をより有効的に活用いただけます。さらに、免税価格から5%OFFで購入いただけるため、店舗で直接購入するよりも、お得に買い物をお楽しみいただけます。

羽田空港は、本サービスを導入することで、今後ますます増加が見込まれるインバウンド旅客に対し、多様化するニーズに応えるとともに、旅行者にとって利便性と快適さを提供します。また、国土交通省が推進する「手ぶら観光」を楽しむ新しいスタイルを提案し、日本での観光体験をより一層豊かなものを目指します。

## 日本食のヴィーガンレストラン

## 「Diversity Diner HND (ハネダ)」オープン

当社と東京国際空港ターミナル株式会社は、第3ターミナル4階江戸小路にすべての料理メニューがヴィーガン対応の日本食レストラン「Diversity Diner HND (ハネダ)」をオープンしました。

当店は、東京自由が丘の和食ヴィーガンレストラン『菜道』のシェフ、楠本勝三氏がメニューの監修を行い、ヴィーガン対応のそば、うどん、ラーメン、カレーライスなど、国内外の方に人気のある日本食をご用意したほか、パティシエ辻口博啓氏が監修した、アイス最中やお土産菓子などの和スイーツもお楽しみいただけます。

羽田空港は、世界中のお客さまに日本のヴィーガンフードの美味しさを発信し、食の多様性を尊重しあいながら、お客さまがご家族やご友人と一緒に楽しく食卓を囲んでいただける時間を提供いたします。



## VEGAN Pizzaと本格ナポリ風Pizzaが楽しめる

## 「CHAYA VEGAN FRIENDLY TOKYO」オープン

当社と東京国際空港ターミナル株式会社は、第3ターミナル3階出国後エリア TOKYO SKY KITCHEN内に、VEGAN Pizzaや本格ナポリ風Pizzaなどが楽しめるサステナブルなPizzaスタンド「CHAYA VEGAN FRIENDLY TOKYO」をオープンしました。

当店は、地球の未来と環境、そしてお客さまの健康を第一に考え、プラントベースにこだわったヴィーガンメニューを提供します。当店イチオシのピザ「The VEGAN」は、彩り鮮やかな8種類の野菜をたっぷりを使用し、ピザ生地からチーズまですべて植物性由来の素材を使用しています。

世界中のお客さまに日本のヴィーガンフードの美味しさを発信し、羽田空港から出発前の楽しいひと時を提供します。



## 事業別概況

すべての事業において、対前期で増収増益となりました。

施設管理  
運営業

- 事務室賃料や店舗の歩合賃料が増加
- 国際線の旅客取扱施設利用料収入が増加
- 主に国際線において、直営外貨両替所やラウンジ収入、広告料等の収入が増加

39.2%

物品  
販売業

- 国内線売店、国際線売店とも、購買客数・単価の上昇により商品売上が増加
- 地方空港国際線向けの卸売売上が増加

54.4%



## 飲食業

- 休業や時短営業していた店舗運営の正常化により飲食店舗売上が増加
- 外国航空会社の旅客数の増加により機内食売上が増加

6.4%



※第78期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

## 中間連結 貸借対照表のポイント

### ① 資産合計

旅客数の回復に伴い施設利用料収入に係る現金及び預金が増加したものの、建物及び構築物等の減価償却に伴う減少により、前期末に比べ12億9千1百万円減少し、4,591億3千2百万円となりました。

### ② 負債合計

長期借入金の約定返済及び期限前弁済で固定負債が減少したこと等により、前期末に比べ121億2千9百万円減少し、2,822億5千7百万円となりました。

### ③ 純資産合計

利益剰余金及び非支配株主持分の増加により、前期末に比べ108億3千7百万円増加し、1,768億7千4百万円となりました。  
この結果、自己資本比率は38.0% (前期末36.5%)となりました。

(単位:百万円)

中間連結貸借対照表	前期 2024年3月31日現在	当中間期 2024年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	120,756	128,447
固定資産	339,667	330,684
有形固定資産	269,932	260,806
無形固定資産	31,242	30,749
投資その他の資産	38,492	39,128
<b>① 資産合計</b>	460,423	459,132
<b>負債の部</b>		
流動負債	70,594	70,230
固定負債	223,792	212,027
<b>② 負債合計</b>	294,386	282,257
<b>純資産の部</b>		
株主資本	164,652	171,091
その他の包括利益累計額	3,520	3,363
非支配株主持分	△2,135	2,418
<b>③ 純資産合計</b>	166,036	176,874
負債純資産合計	460,423	459,132

(単位:百万円)

## 中間連結損益計算書

	前中間期 自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日	当中間期 自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日
<b>④ 営業収益</b>	100,148	131,752
営業総利益	67,422	85,312
<b>⑤ 販売費及び一般管理費</b>	53,913	64,219
営業利益	13,508	21,093
営業外収益	679	1,358
営業外費用	1,707	2,120
経常利益	12,481	20,331
特別利益	141	87
特別損失	104	584
税金等調整前中間純利益	12,518	19,834
法人税等	2,622	3,481
中間純利益	9,896	16,352
非支配株主に帰属する中間純利益	1,662	4,362
親会社株主に帰属する中間純利益	8,234	11,990

## 中間連結 損益計算書のポイント

### ④ 営業収益

国内線・国際線ともに旅客数が前年を上回り、すべてのセグメントでの売上高が前年同期より増加したことにより、前年同期比31.6%増の1,317億5千2百万円となりました。

### ⑤ 販売費及び一般管理費

ターミナル運用の拡大や売上増に伴い、前年同期より営業費用が増加し642億1千9百万円となりました。

会社概要	
商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	381億2,638万円(東証プライム上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務

役員	
代表取締役会長兼CEO	鷹城 勲
代表取締役社長執行役員兼COO	横田 信秋
代表取締役副社長執行役員	鈴木 久泰
代表取締役副社長執行役員	大西 洋
取締役副社長執行役員	田中 一仁
専務取締役執行役員	小山 陽子
専務取締役執行役員	藤野 威
常務取締役執行役員	松田 圭史
取締役(非常勤)	木村 恵司
取締役(非常勤)	福澤 一郎
取締役(非常勤)	川俣 幸宏
取締役(非常勤)	斎藤 祐二
取締役監査等委員(非常勤)	柿崎 環
取締役監査等委員(非常勤)	武田 涼子
取締役監査等委員(非常勤)	岩崎 賢二

本社および営業所など	
本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地 (関西国際空港 航空会社南ビル4階)
中部営業所	愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (旅客ターミナルビル3階)

上席専務執行役員	知久 守一
上席専務執行役員	米本 靖英
上席専務執行役員	田口 繁敬
専務執行役員	神宮寺 勇
上席常務執行役員	植田 英嗣
上席常務執行役員	遠藤 達哉
上席常務執行役員	蜂須賀 一世
上席常務執行役員	久保 健治
上席常務執行役員	小川 光永
上席常務執行役員	炭本 悟
常務執行役員	高橋 歩
常務執行役員	中條 謙太
執行役員	西田 明典
執行役員	高橋 将治
執行役員	佐藤 憲治
監査等特命役員	盛田 靖子
監査等特命役員	草野 裕平

## 株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、**毎年6月下旬の年1回**、株主ご優待券を贈呈させていただきます。

優待内容	株主さま全員に		3年以上保有の株主さまに
	株主ご優待券	株主ご優待割引券	長期保有優待
ご所有株式数 100株以上 1,000株未満	1枚 1,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	+ VJAギフトカード1,000円券 1枚 
ご所有株式数 1,000株以上 10,000株未満	2枚 2,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	+ VJAギフトカード1,000円券 2枚 
ご所有株式数 10,000株以上	3枚 3,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	+ VJAギフトカード1,000円券 3枚 

### ご利用になれる店舗/対象となる株主さま

- [ ■ 株主ご優待券 ] 羽田空港ターミナル内店舗をはじめとする当社指定の店舗にてご利用いただけます。
- [ ■ 株主ご優待割引券 ] 羽田空港、成田空港、中部空港および茨城空港等の当社指定の免税店舗でご利用いただけます。

株主ご優待券	株主ご優待割引券	長期保有優待
<ul style="list-style-type: none"> <li>●羽田空港、成田空港、中部空港および茨城空港等の当社指定の店舗</li> <li>●Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階)</li> <li>●Air Bic Camera ※一部店舗、商品(金券等)によってはご利用いただけない場合がございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●羽田空港、成田空港、中部空港および茨城空港等の当社指定の免税店舗</li> <li>●Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階) ※店舗によっては一部ご利用いただけない商品がございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象:保有継続期間が3年を超える株主さま (毎年3月31日現在の株主名簿に、当社株式1単元(100株)以上の株主として記載または記録され、かつ、同一株主番号で9月30日および3月31日の株主名簿に連続7回以上記載または記録された株主さま)</li> </ul>

※Japan Duty Free GINZAは空港型市中免税店です。免税品の購入は羽田空港または成田空港から国外へ出国されるお客さまのみ可能です。免税品以外の商品については、どなたでも購入いただけます。 ※ご利用可能店舗は、新規オープン・撤退・業態変更等により変わる場合がございますことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは、下記のURLをご覧ください。

[https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock\\_information/preferential.html](https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html)